

平成30年1月23日

「スマート農商工連携マッチングセミナー」を開催

—日程：平成30年2月20日（火曜）場所：とかちプラザ402（帯広市）—

独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部（略称：中小機構北海道 所在地：北海道札幌市 本部長：戸田直隆）では、農業の経営支援及び新事業創出支援のため、「スマート農商工連携マッチングセミナー～『使えるスマート農業』で北海道の農業とIT産業に新時代を！」を開催します。

北海道では、高齢化、後継者難、就業者確保の困難性等に対応をするため、作業の機械化・大型化、省力化・無人化、加えて、安全や快適性へのニーズが高まっています。

本セミナーでは、農業者側は、課題解決のためのスマート農業が果たしうる役割を理解するとともに真のニーズを発信すること、また、開発者側は、そのニーズを正しく理解し技術の現状と開発の方向性を見つめなおすことにより、スマート農業に係る技術開発を促進し、普及の加速化を図ることを目的としています。

さらには、北海道の農業を新しい産業のステージへ押し上げるとともに、IT産業の活性化を促し、北海道経済の成長に繋げることを目指します。

記

「スマート農商工連携マッチングセミナー」

主 催：中小機構北海道
日 時：平成30年2月20日（火曜）14：30～17：40
場 所：とかちプラザ 402（帯広市西4条南13丁目1番地）
定 員：45名
申込締切：平成30年2月14日（水曜）（申込み先着順）
URL：<http://www.smrj.go.jp/hokkaido/seminar/101937.html>
参加費：無料
※カリキュラム等の詳細は別紙参照

<中小機構について>

中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業の様々なニーズに対し、経営アドバイス、共済制度、研修、ファンドを通じた資金提供など多様な支援メニューを揃えています。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部 人材支援課（担当者名：林、杉森）
（住所）札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階
（電話）011-210-7470（HP）<http://www.smrj.go.jp/hokkaido/>

スマート農商工連携マッチングセミナー

～『使えるスマート農業』で北海道の農業とIT産業に新時代を！～

北海道農業においては、高齢化や離農者の増加、就業者確保等の課題に対応するため、作業の機械化、省力化等のニーズが高まっています。また、作物をきめ細かに管理するためのセンシング技術の活用や作業のデータ化による見える化も必要とされています。このような中、いわゆる「スマート農業」の技術は近年急速に進んでいるものの、本格的な普及には、まだ費用対効果や使い勝手等の課題があるのが現状ではないでしょうか。

本セミナーでは、農業者はスマート農業が果たし得る役割を理解し真のニーズ発信するとともに、一方の開発者はそのニーズの理解し技術開発の方向性を見定めること、つまり両者が連携を促進することにより使えるスマート農業の技術開発につなげ、普及の加速化を図ることを目的とするものです。さらには、北海道の農業とIT産業の活性化を促し、北海道経済の成長に繋げることを目指します。

◆対象：農業、IT関係企業、農業機械企業、研究機関、農業関係団体等
スマート農業に関係・関心のある方

◆日時：平成30年2月20日 14:30～17:40

◆会場：とかちプラザ402(帯広市西4条南13丁目1番地)※右図参照
※駐車場(有料)には限りがあります。公共交通機関や周辺駐車場をご利用ください。

◆定員：45名程度(分野別セミナー各15名×3分野)

◆参加費：無料(但し交流会は有料(500円)。参加は任意)

◆カリキュラム：



| 時間 | 項目 | 内容 | 講師(敬称略) | | | | | | |
|--|---|---|--|--|--|--|---|--|---|
| 14時30分 | 開会 | 開会挨拶・趣旨説明(中小機構北海道本部 本部長 戸田直隆) | | | | | | | |
| 14時40分 ～ 15時20分 | 《基調講演》 北海道のスマート農業の現状と課題 | 北海道農業の課題に対し、スマート農業は何をもたらすのか。 ◆農業就労者の減少と技術伝承 ◆農業者から見るスマート農業 ◆人に代わるIoT、AI、ロボット技術の進化の状況 ◆現状における課題 | 北海道農業機械工業会 事務局長 竹中 秀行 北海道農政部 生産振興局技術普及課 主幹 大塚 真一 | | | | | | |
| 15時30分 ～ 17時00分 | 《分野別セミナー》 スマート農業の可能性と課題 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>【A分野】 大規模化・省力化分野 (無人トラクターから自動 収穫ロボット等へ)</th> <th>【B分野】 センシング技術によるデー タ取得分野(IoT技術、ド ローン等の活用)</th> <th>【C分野】 データ化による営農支援分 野(農業経営システム構築 や技術伝承等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(事例発表) 開発者：㈱スマートリンク 北海道 常務取締役 小林 伸行 農業者：三浦農場 代表 三浦 尚志</td> <td>(事例発表) 開発者：㈱ズコーシャ 総合科学研究所 所長 丹羽 勝久 研究者：十勝農業試験場 研究部 主査 原 圭祐</td> <td>(事例発表) 開発者：富貴堂ユーザック 代表取締役社長 本田 和行 研究者：めむろ農協 農 業振興センター長 長濱 修</td> </tr> </tbody> </table> <p>各分野毎に、スマート農業に関する事例発表と意見交換 ①開発の現状と課題等を技術者から発表と意見交換。 ◆スマート農業機器でできること(まだできないこと) ◆使用するに当たって必要な知識や技術 ◆開発側から知りたいこと 等 ②使う側等から、その効果と課題・期待等を発表と意見交換。 ◆なぜスマート農業機器を導入したのか ◆使用した効果は ◆使い勝手や課題、改良の必要性、本当のニーズ 等 ③これからのスマート農業に関する意見交換。 ◆ニーズとシーズの不一致はないか ◆それぞれの立場の者の連携の可能性 ◆夢のスマート農業機器とは(議論のまとめ) 等</p> | 【A分野】 大規模化・省力化分野 (無人トラクターから自動 収穫ロボット等へ) | 【B分野】 センシング技術によるデー タ取得分野(IoT技術、ド ローン等の活用) | 【C分野】 データ化による営農支援分 野(農業経営システム構築 や技術伝承等) | (事例発表) 開発者：㈱スマートリンク 北海道 常務取締役 小林 伸行 農業者：三浦農場 代表 三浦 尚志 | (事例発表) 開発者：㈱ズコーシャ 総合科学研究所 所長 丹羽 勝久 研究者：十勝農業試験場 研究部 主査 原 圭祐 | (事例発表) 開発者：富貴堂ユーザック 代表取締役社長 本田 和行 研究者：めむろ農協 農 業振興センター長 長濱 修 | 左記参照 (進行) 北海道銀行 北海道農業研究センター 中小機構北海道 の担当者 |
| 【A分野】 大規模化・省力化分野 (無人トラクターから自動 収穫ロボット等へ) | 【B分野】 センシング技術によるデー タ取得分野(IoT技術、ド ローン等の活用) | 【C分野】 データ化による営農支援分 野(農業経営システム構築 や技術伝承等) | | | | | | | |
| (事例発表) 開発者：㈱スマートリンク 北海道 常務取締役 小林 伸行 農業者：三浦農場 代表 三浦 尚志 | (事例発表) 開発者：㈱ズコーシャ 総合科学研究所 所長 丹羽 勝久 研究者：十勝農業試験場 研究部 主査 原 圭祐 | (事例発表) 開発者：富貴堂ユーザック 代表取締役社長 本田 和行 研究者：めむろ農協 農 業振興センター長 長濱 修 | | | | | | | |
| 17時10分～ 17時40分 | 《まとめ》 求められるスマート農業とは | 各分野からの報告と質疑(10分×3分野) | 各分野代表者 | | | | | | |
| 17時45分～ 18時30分 | 交流会 (名刺交換会) | ソフトドリンクと茶菓を用意しますので、名刺交換、意見交換により、参加者相互のネットワーク形成を図っていただければと思います。【参加任意】 | | | | | | | |

分野別セミナーでは、参加者の皆さまを含め意見交換を行います。自己紹介等のため資料等の配布も可能です。(但し、営業はお断りします。)

◆参加申込方法

下記申込書に記載のうえ、FAX(011-210-7480)にてお申込みください。

※お申込みは、2月14日まで受付けますが、お申込み多数の場合は、早期に締切場合があります。

参加申込書

中小機構北海道 人材支援課 行
(FAX 011-210-7480)

平成 年 月 日

| | | |
|----------------------|---|---|
| セミナー名 | (2月20日開催)「スマート農商工連携マッチングセミナー」 ～『使えるスマート農業』で北海道の農業とIT産業の新時代を！～ | |
| ご住所・連絡先 | 〒 - 電話 () - / FAX () - | |
| 農場等名又は 所属企業・機関等名 | 業種等 | ⋮ |
| 参加者名(役職) | () | |
| 分野別セミナー 参加区分 | <input type="checkbox"/> A分野 ・ <input type="checkbox"/> B分野 ・ <input type="checkbox"/> C分野 (希望順に口内に希望順位を記載してください。) | |
| 交流会 (会費500円・参加任意) | 参加 ・ 不参加 (どちらかに○をつけてください。) | |

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。
当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。
ただし、お客様の同意がある場合及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

「スマート農商工連携マッチングセミナー」講師等のご紹介 (敬称略)

- 竹中 秀行(たけなか ひでゆき)
北海道農業機械工業会 事務局長。1983年より北海道立農業試験場で野菜、豆類の収穫機械化などに従事。2017年道総研北見農業試験場を退職、6月より現職。EUの先進農機情報を積極的に収集し発信している。
- 大塚 真一(おおつか しんいち)
北海道農政部生産振興局技術普及課 主幹。北海道スマート農業推進協議体の事務局を務め、スマート農業の現状に詳しい。
- 小林 伸行(こばやし のぶゆき)
㈱スマートリンク北海道 常務取締役。北海道大学大学院農学研究院修了。農業生産、流通に係る技術開発に従事し、地理空間情報流通整備、宇宙政策、スマート農業に係る各種法制度、実証に携わる。
- 三浦 尚志(みうら ひさし)
三浦農場(音更町)代表。大学卒業後、農機メーカーで5年間勤務し、平成13年に就農。耕地面積99haを有し、GPSを活用したトラクターの自動操舵やカメラを活用した中耕・除草作業の導入等、省力化に積極的。
- 丹羽 勝久(にわ かつひさ)
㈱ズコーシャ 総合化学研究所 所長。ITによる農業支援システムの研究にいち早く取り組み、リモートセンシングによる土壌モニタリング等の先進技術で十勝の農業の発展を支援。
- 原 圭祐(はら けいすけ)
十勝農業試験場研究部生産システムグループ 主査。北海道大学大学院農学研究科修了。農業機械全般に亘る試験研究に従事。近年は、光学センサを活用した可変施肥マップの作成等の精密農業の研究を行う。
- 本田 和行(ほんだ かずゆき)
㈱富貴堂ユーザック 代表取締役社長。生産者との連携により、その課題や要望を踏まえて競争力のある農業経営をサポートするクラウド型営農システムの開発等に取り組んでいる。
- 長濱 修(ながはま おさむ)
JAめむろ農業振興センター センター長。芽室町の農業振興に対し、技術指導、経営指導業務に携わるとともに、国、道等の研究事業に参画し、新たな技術導入、普及 推進を行っている。

【お問い合わせ先】



(独)中小企業基盤整備機構北海道本部
人材支援課 担当:林、杉森

TEL 011-210-7475 FAX 011-21-7480

中小機構北海道とは

国の中小企業施策の実施機関で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行っております。

また、中小機構北海道が運営する「中小企業大学校旭川校」では、企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

旭川校:旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号 TEL 0166-65-1200